

スライド 1



①挨拶(30秒)

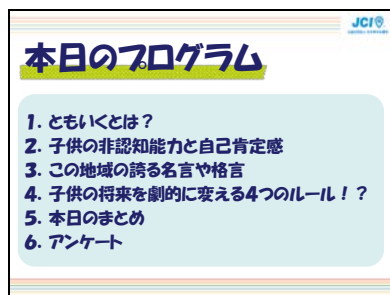
みなさん、こんにちは！

それでは、これから『親子で学ぼう チャレンジ!ともいく!』を始めたいと思います。

本日プログラムを担当させていただきます、〇〇の〇〇です。

どうぞよろしくお願いいたします。

スライド 2



②趣旨説明(20秒)

では、さっそくではございますが、本日のプログラムを7つのテーマに沿って説明させていただきますと思います。まず、

1. ともいくとは
2. 非認知能力と自己肯定感について
3. この地域の誇る名言や格言
4. 子供の将来を劇的に変える4つのルール
5. 親Do! リトミック2018
6. 本日のまとめ
7. アンケート

となっています。

なお、当プログラムは何らかの特定の教育的な価値観を押し付けるものではなく、あくまで親としての一つの考え方を紹介させていただくものとなっています。是非使えるものがありましたら、ご家庭の子育ての参考にしていただければと思います。

スライド 3



③ともいくとは？(20秒)

それではまず始めに、このプログラムのタイトルにもある「ともいく」という言葉をみなさんは聞いたことがあるでしょうか？

聞いたことある、という人手を挙げてもらえますか？

(挙手があるか確認)

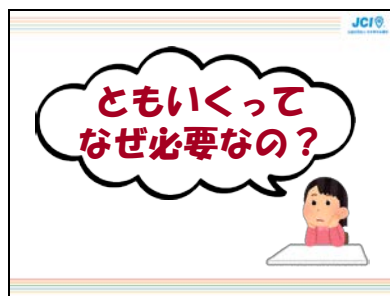
(あ、たくさんおられますね。あまり聞いたことありませんか？など会場を見て感想を)

ありがとうございます。

「ともいく」とは「共に育つ」と書いて「ともいく」と読みます。

教育をする側、受ける側、その地域に住む人達と一緒に教育する環境を作ったり、一緒に成長していこうという考えのことをいいます。

スライド 4



④ともいくとは？(20秒)

ではなぜその「ともいく」が今必要なのでしょう。

今、ニュースを見てもいじめや自殺、児童虐待など、子供たちをとりまく悲惨な事件が毎日のように起きています。もちろん、それが全てではありませんが、核家族化や地域コミュニティの希薄化などにより、私たち大人や子供達を取り巻く環境が大きく変わってしまったというのも要因の一つではないでしょうか。

スライド 5



⑤ともいとは？(30秒)

大きく変わった環境の一つとして、先ほど挙げた「核家族化」があります。

今みなさんの中で、お父さん、お母さんと一緒に暮らしている方はおられますでしょうか。

(手を挙げるジェスチャーを行い、手を挙げることを促す)

(人数によって簡単な感想を)

ありがとうございます。(手を下ろしてください)

昔は親子、そして、さらにその上のお父さん、お母さん、つまり「大家族」で暮らしている家庭が多かったですが、近年はどんどん減少傾向にあります。

「嫁・姑問題」なんてものもありますが、多かれ、少なかれ、親もさらに親から、親としての学びを得ていたのだと思います。

そういう機会が減ってしまい、親が子供にどう接したらいいのかわからない、どう愛情を注いであげたらいいのかわからない、といった親が増えているんだそう

です。

スライド 6

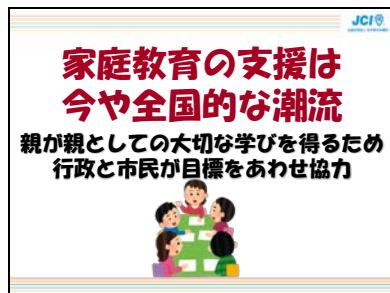


⑥ともいくとは？(30秒)

だからこそ、まずは親が子供の教育にしっかりと責任をもち、いろんなことを学んでいく必要があります。

つまり、親が変われば、子供が変わるといことです。

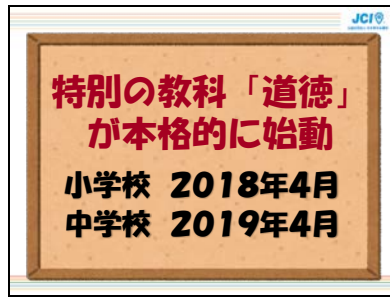
スライド 7



⑦ともいくとは？(30秒)

では、行政、国のほうはどのような動きになっているかというと、

家庭教育支援法案(仮称)を策定中であり、親が親としての大切な学びを得るために行政と市民が目標をあわせ、家庭教育の支援を行っていこうという動きが出てきております。



⑧ともいくとは？(30秒)

また、ご存知の方も多いと思いますが、いよいよ小学校では今年の4月から、中学校では来年の4月から道徳が特別の教化としてスタートします。

道徳って今まで教科じゃなかったの？と思う方もおられると思いますが、先ほど挙げた子供をとりまく環境が変化していること、道徳が正式な教科ではなかったため、教材や時間などが学校や先生により差があったことなどを踏まえ、「特別の教科」としてスタートすることになりました。

これは、急速な情報化やグローバル化などに対し、正しい道徳観、豊かな心を身につける必要があるとして教科化されるもので、受験に必要だったり、点数によって判断されるものではありませんのでご安心ください。

今は小学生でも親の知らないところで、スマホでSNSを使う時代ですから、善悪を判断する道徳というものが必要となってくるのですね。

だからこそ、家庭の教育力をさらに底上げする「ともいく」の考え方が必要になってくるということなのです。

スライド 9



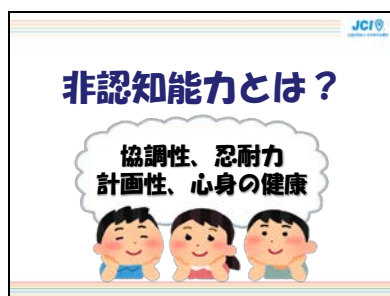
⑨ともいくとは？(30秒)

では具体的に子育てをする上でどのようなことを気を付けていかなければならないのでしょうか。

まずはしっかりと子供と向き合い、子どもを持つ喜びや、子どもの成長を喜ぶ気持ちを含め、豊かな親心を育むことが大切です。

と、言ってもなかなかピンとこないと思いますが、子育てをする上で大切なことはたくさんあると思いますが、皆様、非認知能力や自己肯定感という言葉聞いたことはあるでしょうか？

スライド 10



⑩子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

まず最初に非認知能力とは、学力では測れない、協調性や忍耐力、計画性、心身の健康などの生きる力のことをいいます。

ちなみに、算数や国語など点数などにより「数値で認知できる力」を「認知能力」といいます。

アメリカのノーベル経済学賞を受賞した経済学者ジェームズ・ヘックマンの研究によると、数値で測れる認知能力、つまりIQよりも、この非認知能力が社会的成功に結びつきやすく、また、幼児期のしつけ、就学前教育に投資、または質の良い介入をすることが、この非認知能力を高めるとされています。

2020年からの大学入試でも、実はこの非認知能力を評価の対象とすることが決まっています。

スライド 11



⑪子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

では、その非認知能力を高めるためにはどのようなことをしてあげたらいいでしょうか。

実は遊びというのがとても重要になってきます。

子供はいわゆる勉強と呼ばれるものだけではなく、様々なことから学びを得ます。

遊びといっても、ゲームやテレビのような受動的に遊べるおもちゃではなく、想像力を働かせ能動的に遊べるおもちゃや絵本を活用することが大切です。

その中でも、親からの絵本の読み聞かせというのは非常に有効なんだそうです。

読み聞かせをしたことがある方は、いつもは元気にはしゃぎ回る子どもが真剣に話を聞き、好きな本をボロボロになるまで何度も読んであげた経験というのがあるのではないのでしょうか。

これぞ、親の無償の愛なくしてできることではないですよ。

読み聞かせというのは想像力を働かせ、様々な登場人物に感情移入することで、それぞれの立場を考え、判断する能力、集中して聞く力、言葉の語彙力（ごいりよく）、論理性などが身に付き、困ったときや友達とのトラブルを解決するための知識としてそのおはなしを活用する力が身に付けることができます。是非、たくさんの本を読んであげてください。

スライド 12



⑫子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

そして、もう一つ大切な自己肯定感についてですが、自己肯定感とは、自分自身を大切に、そして、ありのままの自分を受け入れるということです。

ただ、大人でもありのままの自分をそれでもいいんだ、大丈夫、と肯定してあげるのはなかなか簡単なことではないと思います。

他の子はこうなのに、今の子育ての方法であってるのか、など悩むことも多いですね。

では、子供の自己肯定感を高めてあげるにはどうしたらいいのでしょうか。

子供の自己肯定感とは、まず、親が子供の存在を受け入れてあげることにより育ち始めます。

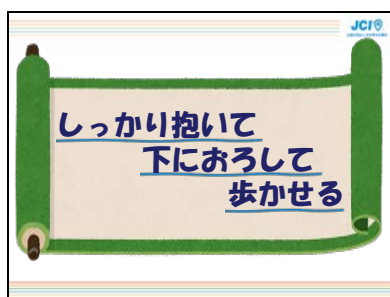
そして、できたことに対して褒めてあげ

る、評価してあげることによって、子供のやる気、自信へとつなげていくことができるのです。

この自己肯定感が低いと、人の顔色を伺ったり、人の意見についつい合わせてしまったりと、自分をもてない子供になってしまいます。

そこでみなさんに自己肯定感を育むためのある格言を一つご紹介したいと思います。

スライド 13



⑬子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

「しっかり抱いて、下におろして、歩かせる」

昔から言われている子育てに対する格言ですが、みなさん聞いたことはあるでしょうか？

スライド 14



⑭子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

では、ひとつずつ説明していきましょう。まずは、「しっかり抱いて」

これは母性的な愛という意味です。授乳のたびに抱いてあげ、眠くなれば抱き、ころんで泣けば抱いてあげる。それではじめて子供は、自分は親から愛されていると感じ、自分を大切にす気持ちや他人を思う気持ちが生まれてくるとい

うことです。この愛着形成を通して、自己肯定感が育まれ、そしてそれが人間関係力の基すなわちコミュニケーション能力の基礎となります。

スライド 15



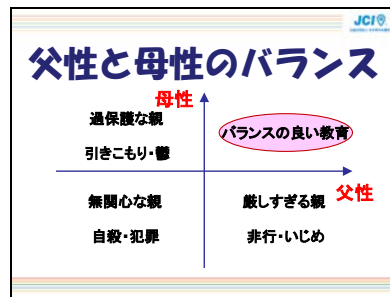
⑮子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

そして、次に「下におろして」これは父性的(ふせいてき)な愛になります。

例えば、子供に自信をもたせるために「大丈夫」と言って支えたり、やってはいけないことを「ダメ」と言って阻止する後ろ盾の壁が大事ということです。そこから子供は自己抑制や自立性というのを学びます。

ちなみに、ここでいう母性的、父性的(ふせいてき)という言葉は父親、母親がこれをしなくてはいけないという押し付け的なものではなく、母性とは人としての優しさ、父性は厳しさのことで、機能的な役割のことを指します。

近年では母親のほうが厳しく、父親のほうが子供に甘いという話を聞きますが、皆様の家庭ではどうでしょうか。



⑩子供の非認知能力と自己肯定感(20秒)

この母性的な愛、父性的な愛は両方バランス良くなくてははいけません。

前の図は、犯罪を犯した、補導された例などからの分析として出していた図ですが、

(右上)右上は父性と母性が両方バランス良く注がれている家庭です。

(右下)右下の父性が強く、母性が弱い家庭では、その抑圧から逃げようとして非行に走ったり、いじめをする子供になる

(左上)逆に、左上の母性が強く父性が弱い場合は、家の居心地が良く引きこもったり、甘えから鬱になりやすい、

(左下)そして、左下の母性も父性も少ない、いわゆる無関心な親だと、自分の存在意義が見つけられず自殺をしてしまったり、振り向いてほしくて犯罪を犯すということもあるそうです。

これは、必ずしもそうなるということではありませんが、父性、母性ともにバランス良く注いであげることが大切ということです。

これは父子家庭、母子家庭においても同様で、もし自分は父性的な厳しさしか与えられない、母性的な愛情しか注げないというのであれば、是非、おじいちゃん、おばあちゃんなど反対の役ができるパートナーを探すことも大切だと思います。

スライド 17



⑰子供の非認知能力と自己肯定感(1分)

そして格言の続きですが、最後に、歩かせる。

自立させるということです。

歩かせるまでに、子どもに見本となる大人の背中を見せることで、子どもは安心して歩きだし、そして自立することができるのです。

昔は育児に限らず様々な教えを、おじいちゃん、おばあちゃん、そして近所の人たち、またはご先祖様などからたくさん教わっていました。

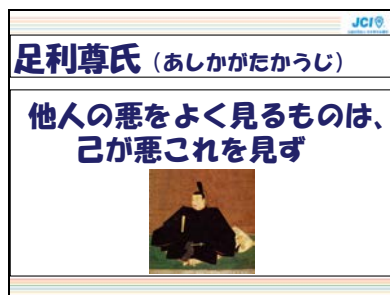
スライド 18



⑱この地域の誇る名言や格言(10秒)

実は、皆様が生まれ住んでるこの〇〇県にも(名言・格言)があるので1つご紹介させていただきます。

スライド 19



⑲この地域の誇る名言や格言(1分30秒)

【※その地域にあった名言をご自由にスライド、シナリオに入れ込んでください。スペースがあれば、その名言がわかるイラストや写真などを使用しても良いと思います。】

(参考:別紙 都道府県別名言一覧)

(※室町幕府を開いた足利尊氏(あしかがたかうじ)の言葉で、「他人の悪をよく見るものは己が悪これを見ず」という名言です。

この名言は、(※他人の悪いところをよく見る人は、自分の悪いところを見ないものだという意味で、人の悪口を言ったり、人の欠点を笑ったりする前に、まず自分自身を見つめ直そう)という意味です。

じつはこの名言はこの(※京都の地)で生まれた名言です。

この地域だけでなく全国各地にも名言が

たくさんあります。

スライド 20



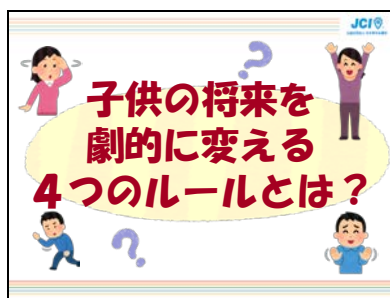
⑳この地域の誇る名言や格言(1分)

名言や格言、またはこの地に伝わる物語というのは、未来の私たちのことを想って教訓として作られたものばかりです。この〇〇県にもまだまだたくさんの名言が残されているのではないのでしょうか。

この土地を作り上げてくれたご先祖様に感謝することで、この土地に誇りをもち、郷土愛が育まれ、地域全体で未来を担う子供たちの教育を支えていこうという考えができるのだと思います。

他にもたくさんの名言や格言がありますので、是非ご家庭にあった名言を見つけ、家庭教育に活用するのも面白いのではないのでしょうか。

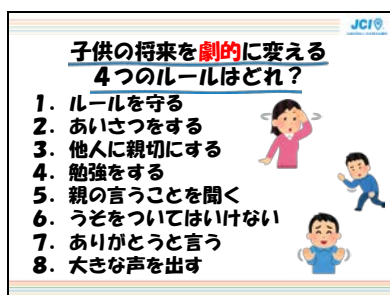
スライド 21



⑳子供の将来を劇的に変える4つのルール(10秒)

それでは最後に、子供の将来を劇的に変える4つのルールというをご紹介しますと思います。

スライド 22



㉑子供の将来を劇的に変える4つのルール(40秒)

今から紹介するこの8つのルールはどれも子供に教えるべき、大切な約束事ですがこの中に子供の将来を劇的に変える4つのルールというものがあります。

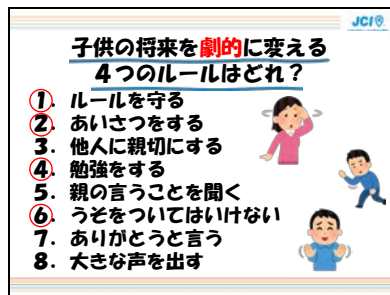
1. ルールを守る
2. 挨拶をする
3. 他人に親切にする
4. 勉強をする
5. 親の言うことを聞く
6. うそをついてはいけない
7. ありがとうと言う
8. おおきな声を出す

この8つのルールというのは全てとても大切なルールなのですが、その中で子供の将来を劇的に変えると言われているルールは皆様はどれだと思えますか？

(ここで2人ほど4つのルールがどれかを参加者に聞いてみる)

そちらの方はこの中でどれが4つのルールだと思えますか？この中から1つそう

スライド 23



思うのを教えてもらえますか？

(参加者が回答する)

ありがとうございます。

続きまして、そちらの方にも聞いてみたいと思います。

そちらの方はこの中でどれが4つのルールだと思いますか？この中から1つそう思うのを教えてもらえますか？

(参加者が回答する)

はい、ありがとうございます。

答えてくれた方に皆さん拍手をお願いいたします。

実は、この4つが正解です。

⑬子供の将来を劇的に変える4つのルール(40秒)

こちらの赤枠のついた、

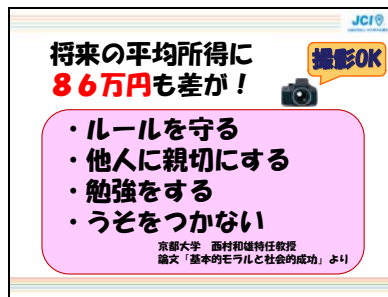
- ①ルールを守る
- ②他人に親切にする
- ④勉強をする
- ⑥うそをついてはいけない

この4つのルールを親から教わった子と教わっていない子の将来を研究した京都大学の西村教授によると、

なんと、

(ページめくり)

スライド 24



②4 子供の将来を劇的に変える4つのルール (1分30秒)

将来の平均所得に86万円も差があるということです。

こちらはあくまでも一つの統計結果なので、これを教えたから必ず86万円上がるわけではありませんが、小さい頃から社会を生きていく上で必要なマナーを少しずつ意識をさせていくことが子供の道徳心を養うということに大きく繋がり、社会でより良く生きていく力につながるのだと思います。

この4つのルールを是非皆さん覚えて帰ってください。

写真等も大丈夫なので是非撮影してください。

(見回して撮影が終わったら次へ)

よろしいでしょうか。

スライド 25



②5 親Do！リトミック(30秒)

でも、今ご紹介したこの4つのルールを教えるのって大変ですよ。そこで、リトミックというのをご紹介したいと思います。皆さんはリトミックという言葉を知っていましたか？

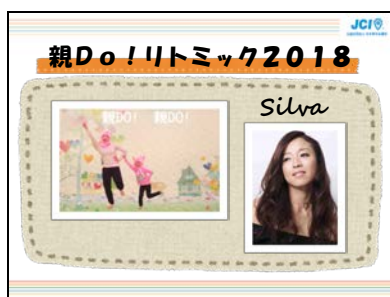
リトミックとは元々はスイスで生まれた音楽教育の方法で、音楽の楽しさを身体全体で体感し、興味と音感を育てようとしたものです。

おなかの赤ちゃんの教育CDなどがあると

おり耳は胎児の頃から発達しているとても重要な器官なので幼児だけでなくおなかの赤ちゃんも

音楽を通じて、感受性や集中力、スポーツに必要なリズム感などを養うことができます。

スライド 26



②⑥親Do！リトミック(6分)

そこで

そのリトミックを活用し、4つのルールや、今日紹介した格言「しっかり抱いて、そっと下ろして、歩かせる」を盛り込んだ動画を作成しましたので、御紹介いたします。

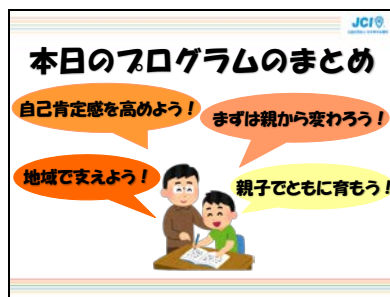
こちらは歌とダンスが入った動画となっていますが、実は、作詞、作曲を歌手のSilva(シルバ)さんに手掛けていただきました。もちろん、歌ってもらっているのもSilva(シルバ)さん本人です。

Silva(シルバ)さん知っている方も何人かいらっしゃるのではないかと思います。2000年前後に歌手、バラエティと活躍され、今は乳幼児教育アドバイザーなどの資格を取り、育児に関するワークショップなどを行っておられる方です。

後程こちらの動画のQRコードを画面に出しますので、是非アクセスしていただき、ご家庭で一緒に歌ったり、踊っていただければと思います。

(※時間がある場合は映像を流す)

スライド 27



⑦本日のプログラムのまとめ(2分)

それでは、最後に本日行ったプログラムをおさらいしてみようと思います。

まず子育てには親が子供としっかり向き合うことが大事で自分から変わろう!という意識をもつことが必要です。そして子供を育てる上で子供は様々なトラブルや問題に直面していきます。その時しっかりと支えてあげる知識や経験を身につけ、親だけではなく、この地域に住む人達と共に郷土愛を育み、そして子供を育てる環境を支えあっていくことが大切になってきます。

皆様の住んでいるこの地域に愛着をもち、そして町全体で支えあえる教育環境を目指していきましょう。

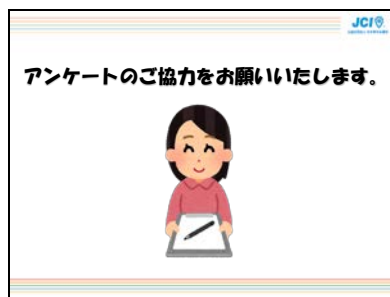
スライド 28



⑳アンケートのお願い(アンケート用紙配布1分、アンケート記入2分)

それでは、これで「親子で学ぼうチャレンジ!ともいく!」は終了となります。本日はご参加いただき誠にありがとうございました。

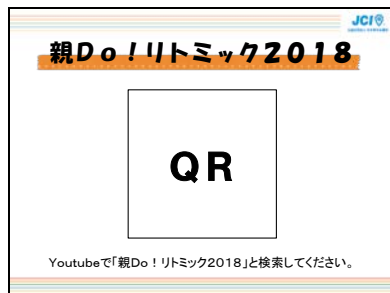
スライド 29



㉑アンケートのお願い(アンケート用紙配布1分、アンケート記入2分)

最後に参加した皆様に今回のプログラムのアンケートのご協力をお願いしております。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

スライド 30



㉒QRコード